

令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

(本文に掲載した年平均気温は、気象庁発表の 1991～2020 年の 30 年間の平均値、
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/normal/index.html>, 2024 年閲覧)

- 問 1 気候変動に対応して農産物の産地を急に移動させるとすると、生産者はどのようなことをしなければならないでしょうか。問題文の記述を参考にしつつ、あなたの考えを 500～600 字で述べなさい。
- 問 2 農作物の産地が離れた地域に急に移転すると、消費者はどのような影響を受けるでしょうか。問題文の記述を参考にしつつ、あなたの考えを 500～600 字で述べなさい。

令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

出題の意図

この小論文の出題意図は、農業生産に影響を与える諸条件および気候変動の問題に関する興味や知識、論理的な文章を作成する思考力や表現力を見ることにある。本学科のアドミッション・ポリシーにおいて、「生物生産・資源や自然環境」への関心と、「(地域)社会への貢献」の意志を求めている。そこで、温暖化への対応として産地を移転するという具体的なケースについて、問題文において基本的な視点や情報を提示した上で、農産物の生産者（問1）と消費者（問2）に与える影響について考察し考えを記述させる。これは、農業の知識や経験のある受験生も、それらに乏しい受験生も、ともに解答のカギを得て、自分の問題意識を働かせて考察・論述できる条件を作って、上記の「関心」と「意志」、そして論理的な文章を作成する思考力・表現力を評価することを意図して出題したものである。